



佐藤芳直☆通信vol.4

-知性の時代は終わった-

なぜ、知性の時代は終わったと発信しているかということ、AIの知能指数は6,000~8,000ほどあります。それを考えると、AIを仕事に活用しないで何かを作り上げるといことは不可能な時代に入ります。この時代変化に伴って、AI化の時代では私たちのスタンスを変えなければならないことが2つあります。

1つ目は、AIが最適解を出してくれるということです。最適な答えを出してくれるということは、最適な答えをどのようにして提供できるかが、人間に残された道になります。AIはどんなに成長したとしても血の通った温かさを前提とした心地良さは提供できません。ですから、この“温かく”という言葉がキーワードになります。

2つ目はAIが合理的な答えを出してくれるということです。すなわち、世の中は合理性を求めた社会になります。もうすでに変わっていますが・・・。そうであるならば、人間の温かさを追求するためには合理の対極側にあるもの、つまり、非合理や非効率、非経済的な選択をしなければなりません。この要素が人間にとって重要な要素になります。つまり、これからは人間中心主義になることを指します。

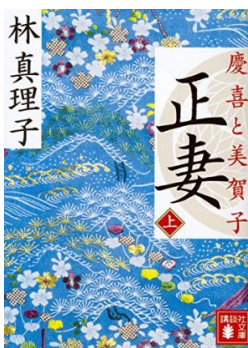
私は、ビッグデータは意味がないと話すときがあります。それは、ビッグデータを前提に物事を進めていくと、必ず答えは1つになるからです。AIが出す解のベクトルは同じだからこそ世の中の答えは1つになってしまいます。これからの世の中は、共通する最適な答えに向かって皆が競争する時代になります。ですから、世の中がAIに誘導される方向は同じ方向です。問題は全企業が同じ方向に進むことで、どれだけ対立軸を創造できるかがカギになります。それは決して反対のことをやるということではなく、人間の喜びを創造することにあります。

-感性がすべての始まり-

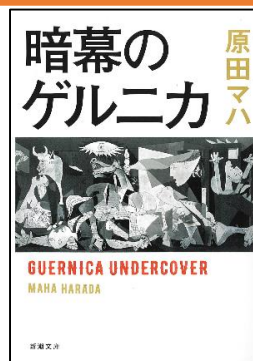
知情意（知識・情緒・意思）という言葉があります。一般的な教育の考え方に、知識を教え、それから情緒を教え、意思が生まれるとありますが、私は情緒→知識→意思の順番だと考えています。感じるから、知ろうとして知識が付き、もっと感じようと意思が生まれます。

なぜ、朝礼メールで季節のことや風景のことを伝えているかということ、関心が生まれなければ感じようとしなからずです。例えば、虫に興味があれば、気づきません。興味があれば調べたり、学ぼうとしたりするものです。ですから、どんなことも全ては感じることで始まりです。日々意識をしながら生活して下さい。

佐藤が現在読んでいる本



【正妻】
林真理子(著)



【暗幕のゲルニカ】
原田マハ(著)